

◆基礎から学ぶ浄土真宗 1

阿弥陀仏と浄土

親鸞が歩んだ道

ないとう ともやす

内藤知康著 ▼A5判・並製カバー・200頁定価 二、二〇〇円

2023年6月刊行



人気の授業を書籍化！
真宗学の第一人者が、浄土真宗の教義を理路整然とわかりやすく語る。浄土真宗を学ぶための決定版。

【目次】

刊行にあたって(井上見淳)

序 章 浄土真宗を学ぶということ——真宗学とは何か

- 一、真宗学とは何か
- 二、真宗学の四つの分野
- 三、真宗を学ぶということ

第一章 親鸞の宗教体験——親鸞の生涯

- 一、誕生——親鸞を知る手がかり
- 二、出家——明日ありと 思う心の あだ椀
- 三、比叡山での修行——堂僧としての日々
- 四、下山——なぜ比叡山を下りたのか
- 五、夢 告——六角堂への参籠
- 六、法然門下時代
- 七、流 罪——念仏弾圧
- 八、伝道と述作
- 九、往生

第二章 親鸞の追求したもの

- 一、苦しみの解決
- 二、「迷いから悟りへ」という構造
- 三、宗派の違い——悟りへのさまざまな道
- 四、悪凡夫が仏に成る
- 五、「私」が「仏」に成っていく道
- 六、比叡山での宗教体験

第三章 「仏から私へ」という世界

- 一、雑行を棄てて本願に帰す

第四章 聖道門と浄土門

- 一、浄土門の性格——凡夫が仏となる道

- 二、浄土の開示
- 三、「浄土」の語義
- 四、浄土の本質
- 五、「迷い」と「悟り」の関係——迷悟の二而不二

第五章 「私を救う仏」としての阿弥陀仏

- 一、現代人は阿弥陀仏をどのように考えるか
- 二、阿弥陀仏の三つの面
- 三、阿弥陀仏と衆生の二而不二

第六章 阿弥陀仏に救われる人間——親鸞の人間観

- 一、「私」とは何か
- 二、人間観・衆生論・機根論
- 三、仏教における善と悪
- 四、親鸞の人間観——悪人の意義
- 五、輪廻する存在として
- 六、まとめと補足

あとがきに代えて(塚本一真)

◆著者略歴

内藤知康(ないとう ともやす)
一九四五年、大阪府に生まれる。龍谷大学大学院文学研究科修了、宗学院卒業。二〇二二年、往生。
龍谷大学名誉教授、元本願寺派勸学寮員、福井県覺成寺元住職(福井教区若狭組)。文学博士。
主な著書に、『親鸞の往生思想』、『聖典読解シリーズ5 正信偈』、『聖典読解シリーズ7 歎異抄』、『増補版 やわらかな眼』、『親鸞聖人のことば』(共著)、『御文章を聞く』、『安心論を学ぶ』、『顕浄土真実行文類講読』ほか論文多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
内藤知康著	
法藏館 定価 二、二〇〇円	
【基礎から学ぶ浄土真宗1】 親鸞が歩んだ道	
ISBN: 978-4-8318-7931-8 C0015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗